

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

“許せない東労組の人権蹂躪・三鷹電車区事件!”

「三鷹電車区で何があったのか!」

JR連合は今、シリーズ「検証・浦和電車区事件の真実」をホームページ上で展開しているが、その1年前に浦和電車区よりもひどい東労組による人権蹂躪があった。その被害者・佐藤久雄さんの当時の日記から再現し、すべてのJR東日本社員の皆さんに事実を訴えたい。それは、規律ある職場秩序を確保し、社員がお互いに信頼し合い、安心して働ける職場を築くためである。

第1回 事件の始まり

1999年9月5日に、秋川バーベキューランドにおいて開かれた旧知の仲間の芋煮会に佐藤久雄さんも参加した。この芋煮会にJR連合系組合員(当時グリーンユニオン組合員)も参加していたことから、東労組はこれを組織破壊攻撃と断定して、これに参加した佐藤さんを含む東労組組合員に対する糾弾行動を開始した。

職場内で「事情聴取」始まる

9月11日、東労組八王子地方本部三鷹電車区分会長らは、電車区庁舎建物内の訓練室において、東労組地本役員などとともに、佐藤さんに対する追及行動を始めた。追及行動は「芋煮会」参加者の氏名、会合の目的などを明らかにすることを求めた。佐藤さんは沈黙を保っていたため、その手口は、口々に、「お前、何を考えているんだ。」、「お前は裏切り者。東労組をなめるんじゃない。」、「転勤か、または会社を辞めてもらう。」などと怒鳴りつけ、まるで拷問のようだった。追及行動は、10月15日までのほとんど連日、庁舎建物内の各室などにおいて、「嘘をつくな。」、「嘘をつくことは東労組への裏切りだ。」などと言って佐藤さんを威嚇した。

芋煮会参加者を名指しで批判

東労組八王子地本機関紙「FAXニュースはちおうじ」は、9月15日付で、佐藤さんを含む4名の所属組合員の氏名、所属職場を掲載して、4名がグリーンユニオン組合員と「芋煮会」に参加したとして非難した。(芋煮会当日、盗撮していたらしく4名の名前を割り出したらしい) その内容は、「ブラックユニオンによる組織破壊攻撃粉碎、JR連合解体宣言」と題する宣言を掲載した(なお、「ブラックユニオン」とは、グリーンユニオンに対する東労組による蔑称)

同宣言は、「われわれは、「JR東日本の民主化」を宣言したブラックユニオンと席を同じくして酒を酌み交わしたことを断じて許さない。ブラックユニオンを“心の底からの仲間だ”と感じている彼らを許さない。地本は、芋煮会に参加した4名を組織破壊者と断定する」などとして、「支部、分会、青年部、部会、分科会」に対して、「ブラックユニオンによる組織破壊攻撃粉碎の闘いに決起する。」ことを呼びかけるものである。また、東労組東京地方本部も、9月13日付「闘争宣言」と題する文書を作成して、東京地本所属組合員3名が「芋煮会」に参加したとして、その氏名、勤務場所などを記載し、「ブラックユニオンと意を通じた組織破壊分子と断定する。」などとしたうえ、支部、分会に対して「全組合員に組織破壊の実態を明らかにし、組織点検を強化しつつ反撃の体制を確立しよう。」などと呼びかけた。(次号に続く)

事件当時の三鷹電車区運転士の労組構成(1999年10月頃)

運転士は全体で120名位だが、国労の30名を除いてすべて東労組だった。 JR連合組合員はいない